



みんなで広げよう

シトラスリボンプロジェクトinごじょう

コロナ禍の中でも
「ただいま」「おかえり」と笑顔で言い合える
あたたかいまちに

シトラスリボンプロジェクトとは

コロナ禍で生まれた差別、偏見をなくそうと愛媛県の有志がつくったプロジェクトで、愛媛特産の柑橘にちなみシトラス色のリボンで3つの輪を作り、身につけます。3つの輪は、「地域」「家庭」「職場もしくは学校」を表しており、感染された方や医療従事者がそれぞれの暮らしの場で「ただいま」「おかえり」と言い合えるあたたかいまちでありますようにという想いをシトラスリボンで共有し、エールを送るプロジェクトです。

プロジェクトに賛同していただける方は

シトラスリボンを身に着けたり、家の玄関や郵便受けなどに飾ってみたりしてください。「元気で
すか?」「また会いましょう」の言葉とともに贈りあうのも良いかもしれません。また、リボンの画
像をSNS等で発信することでプロジェクトが広まるきっかけにもなります。色や材質に細かい決
まりはありませんので3つの輪を形取った思い思いのリボンを作ってみてください。
五條市ホームページにも作り方を掲載しておりますのでぜひご覧ください。



五條市オリジナルのシトラスリボン

五條市では市の特色を活かし「青黄緑」の3色の手作りリボンを
職員が身に着けて業務にあたっています。

青: 吉野川の清流 / 医療従事者への敬意と感謝

黄: 西吉野町に自生する福寿草(花言葉は幸福を招く)

緑: 大塔町の山々



リボン結び目の意味

表



裏



表は「口」、裏は「十」の形に見えるので「叶結び」と言われます。

コロナ禍の中でも差別・偏見のない社会、一日も早くコロナが終息するようにとの願いを込めて結んであります。